

高瀬神社社報

越中一宮

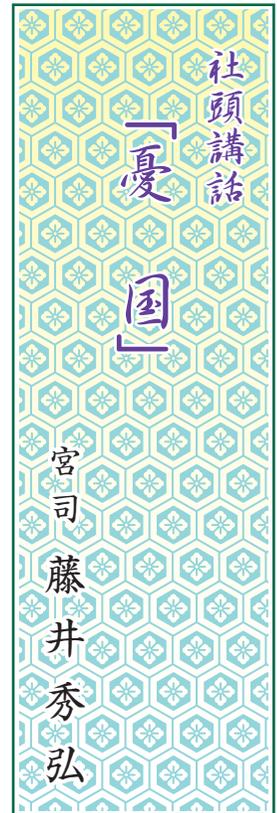
第26号

平成 22 年 7 月 1 日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影 南部写真館 南部 榮氏



今年の四月、十二年間に亘りお引き受けしておりました富山県神社庁長を退任させていただきました。この間、たくさんの皆様を支えられ無事にお勤めできましたことは何よりも有難いことでした。心から御礼申し上げます。

神社庁長在任中は諸會合出席のために県内外へ頻繁に出かけました。退任後の今も社務で度々出張しますが、心寂しい思いをして帰宅することが度々ありました。それは電車やバスに乗ったとき、街中を歩いているときなどに、年齢性別関係なく自分勝手な振る舞いをする人を多く見かけたからです。「自分が得をすればそれで良い」「他人のことはどうなるかと自分には関係ない」という日本人が多くなってきたことを実感しました。しかし、これが今の日本社会の現状なのではないでしょうか。

持ちよく過ごせるように、道を歩いている人たちがスムーズに通行できるように配慮するがよい。他人を思いやる心が薄らいできており、思慮や同情や謙讓という日本人が昔から持っていた美徳が消え去ろうとしているのではないかと感じます。

「他人に迷惑をかけなければ何をしても良いじゃないか」と考える方もおられると思いますが、この「迷惑」という言葉をどのように解釈するかとても重要です。迷惑の基準は、大まかな部分では一致していても細かい部分では人それぞれでしょう。自分自身が迷惑と感じなければ、大勢の人が迷惑と感じていてもその言動は改まらないでしょう。世間一般の常識や生活規範は小さい頃から教えないと身につきません。「世の中で一番大切なものは何か」「人として守らなければならないものは何か」ということを第一に教える必要があります。最近の大人はこれをきちんと子供たちに論じているのかとても心配です。教育評論家の中に子供の「人

格尊重」や「人間性の重視」を声高に言われる方がおられますが、その主張は「人格尊重」「人間性重視」というのは何ものにも束縛されず「自由奔放」に生きることであり「個人」という意味を取り違えていると思います。

一人の人間が有する責任、他人への思いやり、社会における協調性という生活していく上で必要な事柄を大切にすることによって人格が尊重され、人間性が重視されるのであらうと思えます。

過日、テレビの街頭インタビューで「有事の際、あなたは国に殉じることができますか」という質問を一青年にしたのに対して、その青年は「今の日本のような腐った国は滅亡したほうが良い、国に殉じるなんてとんでもない」と回答していました。このような考え方を持った若者たちに日本の将来を託してよいのか心配になりました。この質問も答えも偏った内容だったように思えましたが、やはり、自由奔放や利己主義的な考え方が根底にあるように感じました。自分の住む国、自分の生活する社会をもっと大切に作る気持ちをも一人でも多くの人たちにもってほしいと思うのです。

治家が法律を自分らの都合の良しように変える、マスコミが事の真実を歪めて放送するなどということは、今や日常茶飯事です。国民を欺くようなことをしないでもらいたいと思います。

子供は次代を担う国の宝であり、日本の将来を背負ってたつ希望の星です。日本が繁栄するか衰退するかは、これからの子供たちへの教育にかかっています。安倍内閣の時に、国の学習指導要領が改定され、道徳教育に重点がおかれました。しかし、政権が変わった途端に逆戻りしました。子供の心は純真です。小さいときから生活規範（道徳）を教えることは重要なことです。社会を正しく見る目を養い、能力を育てることは、子供たちを幸せにすることであり、社会を発展させ、国を栄えさせていくことにつながると信じています。そのためには、親がしっかりしなくてはなりません。

私の父が亡くなって九年になりましたが、死ぬ間際まで、事あるごとに教えられるようにすべきかを考えるための良き指導者が神職であり、宗教家である」と常々語っていました。

今の自分があるのは父のおかげ。人生の師である父に日々感謝して暮らしています。

将来、子供に感謝される親になれるよう努力を重ねたいと思います。世の親の皆さんに努力してほしいと願っています。

祭 事 暦

金婚祭

四月八日、高瀬地区老人クラブ連合会（川田義治会長）会員約七十名の参列により「金婚祭」が斎行されました。

宮司の祝詞奏上後、当神社で初めて神楽舞「胡蝶の舞」が奉奏されました。金婚を迎えられたご夫婦には、金婚祝証と記念杯が川田会長より贈呈されました。また、祭典に先立ち恒例の清掃奉仕も行われました。祭儀後は、宮司による講演会が参集殿にて行われました。



(金婚者)
傍田文二・恵美子ご夫妻
(南砺市高瀬)



祈年穀祭

六月十日午前十時より、「祈年穀祭」が斎行されました。



宮司の祝詞奏上につづき、砺波地区農業協同組合協議会から幣帛が供えられ、参向使の齊田一除福光農業協同組合代表理事組合長により祭文が奏上されました。

本殿での祭典につづき、御神前で点火された忌火が宮司から参向使に手渡され、境内大鳥居前に備えられたかがり火に点火されました。参列者一同は害虫の災い無く豊作になるよう祈念しました。



また、多年にわたり農業の発展に寄与された四氏に「根尾宗四郎氏・上田又一氏遺徳顕彰事業」により農事功労表彰が送られました。

(農事功労表彰)

前なんと農業協同組合代表理事組合長

永井 正夫氏 (南砺市養谷)



前いなば農業協同組合代表理事組合長

成田 戦一氏 (高岡市福岡町矢部)



谷口 旭氏 (小矢部市西福町)



源元 光夫氏 (南砺市金戸)



御神山「牛岳」のこと

開山祭・例祭

去る六月六日、御神山の「牛岳（標高九八七メートル）」の開山祭・例祭が斎行され、権宮司と巫女が奉仕しました。

祭典には、関係者約三十名のほか、富山市側と砺波市側の二つの登山口より約六〇名の登山者が入山し、今年の登山の安全を祈りました。

当日は好天にも恵まれ、参列者には「赤飯」や「山菜おこわ」などが振る舞われ、初夏の楽しい一時を過ごしました。



シリーズ

高瀬の今昔 ⑤

「火縄授神事のごとく」

高瀬神社では毎年、「祈年穀祭（きねんこくさい）」という特殊神事が斎行されます。

この祈年穀祭とは、例祭（れいさい）・祈年祭（きねんさい）・新嘗祭（にいなめさい）の三大祭に並ぶ稲作・農業に関わる重要な祭礼で、氏子崇敬者をはじめ農業協同組合、関係者多数参列のもと盛大に行われます。

由来はたいへん古く、天武天皇九年四月、イナゴによる農作物への災いを防ぐため、勅使（天皇の意思を伝達するために派遣される特使）を遣わして、豊作を祈られたことに始まります。以来、連綿と受け継がれ、近年では六月十日午前十時から祭儀が斎行さ

れ、御神前で火打石と鉄片を用いて採火し、かがり火に点火。翌十一日には御神火と伴に神輿が砺波平野を巡行し、なんと、福光、いなば、となみ野各農業協同組合前でお祭を行い、その年の豊作と農業関係者の健康無事を祈願しております。

神輿が巡行する以前は、氏子崇敬者が御神火を火縄に点け家に持ち帰り、その火を誘蛾燈（ゆうがとう）にする風習がありました。

このいわゆる火縄授神事は明治十九年、相馬砺波郡長が当時、虫害により起こった稲作の大害を憂い、災除祈願の燈明として各農家へ神様の火を分与したことが起こりです。昭和五年の祭典記録には、「満郡霽夜（せ

いや）星の如く閃々煌々（せんせんこうこう）此神威を輝し信念祈願せしめんと祭典を行い云々」とあり、また昭和七年には、観学院や近隣の田圃で数回、害虫駆除祈願祭を行っており、当時の農業に携わる人々にとつて、いかに重要な祭りであったか推察されます。



昭和16年の祈年穀祭



神火傳送五穀豊穰祈願祭 (昭和36年・県信連屋上)

社の日々

献花式

六月十九・二十日の両日にかけて高瀬遺跡保存協会（竹村武夫会長）主催の「第三十六回菖蒲まつり」が開催されました。これに先立ち拝殿において「献花式」が斎行され、関係者が参列し「花菖蒲」が御神前に供えられました。

祭典後、表参道より高瀬遺跡までオープニングパレードが行われ、メイン会場では、吟詠大会や氏子の雅楽会「鳳鳴クラブ」の演奏、各種団体の清興が祭りを盛り上げました。また、「菖蒲の育て方講習会」など多彩な催しものにより、両日大勢の人出で賑わいました。



献穀田により

「御田植祭」 斎行

本年早乙女奉仕者

- 水野 千春さん(高校三年)
- 西村 友美さん(高校三年)
- 水上恵里香さん(高校三年)
- 板橋ひかりさん(高校一年)
- 筏 智美さん(中学一年)



去る五月二十二日、井波地域中核農業士協議会(松井俊明会長)による「御田植祭」が、南砺市坪野の水野敬一氏(本年奉耕者)の水田で斎行されました。

祭事では宮司の祝詞奏上につづき神田が祓い清められ、五名の早乙女により「コシヒカリ」の苗が丁寧に植えられました。

九月中旬の「抜穂祭」で刈り取られる稲は御神前にお供えされるほか、伊勢の神宮に「懸税」として、明治神宮には「初穂米」として奉獻されます。



参拜日誌抄

(平成二十二年三月〜五月・敬称略)

「三月」

- 十三日 立正佼成会(清掃奉仕)
- 二十日 白山比咩神社青雲寮OB会
- 二十五日 富山県西部森林組合 六十名(安全祈願)
- 二十六日 献穀田種粉清祓式(榊キタニ(新入社員奉告))
- 二十七日 津守神社(大阪市) 宮司 今江隆道
- 二十八日 春日丘八幡宮総代会(茨木市) 宮司 三輪紀雄 以下三十四名

「四月」

- 六日 南砺市交通安全協会(春の交通安全祈願祭) 富山県西部森林組合利賀支所 六十名(安全祈願) 南砺市シルバー人材センター(安全祈願)
- 八日 氏子清掃奉仕(村総出)

「五月」

- 二日 白山比咩神社 宮司村山和臣(宮司就任奉告参拝)
- 三日 菊桜庵 大野嘉胤 以下十六名
- 五日 埼玉県神社庁大里支部 第二区総代会(第一班) 二十四名

- 高瀬地区老人クラブ連合会(金婚奉告祭)(清掃奉仕)
- 十三日 立正佼成会(清掃奉仕)
- 十六日 読売お茶の会(席主 橋爪孝仙社中)



(写真提供 読売新聞北陸支社)

十日 普明会教団高岡支部
十三日 埼玉県神社庁大里支部
第二区総代会(第二班)

二十四名

立正佼成会(清掃奉仕)

十七日 庄川SC安全協議会

三十六名

十八日 滋賀県神社庁蒲生支部西部
一七九名

十九日 神社庁砺波支部祭式研修会

二十三日 愛知県・一宮北部十一社会
四十七名

団体参拝のご案内

事業所の安全祈願・創立記念日等の各種祈願を随時受け付けております。

社務所までお申し込み下さい。

(初穂料)
一〇、〇〇〇円



ご結婚おめでとうございます

昨年十二月から本年五月まで御婚礼の御儀を執り行われた皆様です。

(挙式日、時間順)

十二日 谷中 孝治様 芳恵様

小竹亜紀雄様 佳子様

伊藤 太康様 あゆみ様

高橋 佳孝様 優子様

川田 康弘様 雅代様

谷道 康宏様 明日香様

亀村 尚史様 美樹様

杉谷 智人様 佳世子様

水上 昌彦様 智子様

掛田 栄嗣様 香奈様

森 雅豊様 亜希子様

金道 暁人様 理恵様

河原 剛司様 優子様

二十日

コウインドリネンピーター様

二十一日 松浦 耕平様 真貴様

村中 厚様 香織様

山本 佑輔様 真実様

恩田 昌彦様 真理子様

桃井 壮治様 里織様

温井 貴志様 和海様

川合 史晃様 愛子様

川田 崇博様 美樹様

山本 敦様 陽子様

東 由美子様 優樹様

齋藤 洋平様 愛佳様

稲田 雅文様 由紀子様

西島 宏幸様 あゆみ様

ご新郎ご新婦の末永いご多幸とご両家益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

奉納

○境内参道玉砂利整備

砺波市庄川町 株川上建拓

代表 川上光泉殿
平成二十二年五月十七日

○額「福籠」

(木よう花みこ画)

京都市伏見区 菊桜庵

代表 大野嘉胤殿
平成二十二年五月三日

○拜殿「大提灯」

高岡市野村

齊藤外科小児科クリニック
院長 齊藤大直殿
平成二十二年六月二十日



ご案内

七夕祭

八月七日(土)

午後三時より齋行

短冊配布期間七月十七日より

短冊は外拝殿に設置致します。

どうぞご家族お揃いでご参拝下さい。



例祭

九月十三日(月)

午前十時より齋行

御本社につづき功霊殿大祭を齋行いたします。

皆様おそろいでご参拝下さい。

第四十八回奉納剣道大会

九月十九日(日)

午前九時より

奉告祭ののち、境内全庭にて、砺波地区内の小中学生・高校生

剣士の熱戦が展開されます。応援をお願いします。



観月祭

九月二十二日(水)

午後六時四十五分より

お団子を食べながら雅楽を聞いて、秋の夜長を過ごしましょう。

詳細は社務所までおたずね下さい。

第三十七回献茶式

十月二十四日(日)

午前十一時齋行

(お茶席・二席)

午前八時三十分～午後三時

(ご奉仕)

表千家流 橋爪孝仙社中

(茶券)

一枚三千円(短冊・点心付)

七五三詣

本年は次の通りです

○七歳(女子)

平成十六年生

○五歳(男子)

平成十八年生

○三歳(男・女)

平成二十年生

元服祝(男子)

十五歳(平成八年生)

髪上祝(女子)

十三歳(平成十年生)

いぬ 成の日(安産祈願)

(七月)

十一日(日)

二十三日(金)

(八月)

四日(水)

十六日(月)

二十八日(土)

(九月)

九日(木)

二十一日(火)

(十月)

三日(日)

十五日(金)

二十七日(水)

(十一月)

八日(月)

二十日(土)

(十二月)

二日(木)

十四日(火)

腹帯のお祓いを行いますのでご持参下さい。

御祈祷

家内安全・交通安全・初宮詣・厄除・人生儀礼など「御祈祷」は毎日午前八時三十分より午後四時三十分まで随時受け付けております。

祭典・結婚式等で御奉仕できない時間帯もありますので、事前に社務所までおたずね下さい。

編集後記

春先の低温により農作物の生育が心配されるところではありましたが、例年より一週間程遅れ、本年も境内を流れます宮川に多くの蛍が飛び交い、参拝者の皆様にもお喜びいただきました。

梅雨の時期に入りましたが、氏子・崇敬者の皆様には、ご自愛をいただき、清々しくお過ごし下さいますよう、お祈り申し上げます。

【表紙写真】

夏空にそびえる大杉

(本殿脇の樹齢五〇〇年の御神木)

発行日 平成二十二年七月一日

発行所 越中一宮 高瀬神社社務所

〒933-1025 富山県南砺市高瀬二九

TEL 0763-810933 FAX 0763-813304

編集人 浦

泰宏

印刷所

牧印刷株式会社

ブライダル相談会及びフェア情報

7月

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



一の宮フェア
13時・14時・15時

プリンセスフェア
10時～17時
模擬結婚式 14時

特別ご招待会
10時～17時

ブライダルフェア
10時～17時
和装体験 模擬結婚式14時

きずなむすび
絆結フェア
10時～16時

プチフェア
10時～16時

7/10(土)・11(日)

プリンセスフェア

模擬結婚式14時～ 10時～17時

要予約

プリンセス体験

10時・12時・15時

専属美容スタッフが、
貴女をプリンセスに
変身させちゃいます！
プロカメラマンによる
フォトサービス

～無料～



8/22(日)

ブライダルフェア

和装体験
模擬結婚式14時～

10時～17時



FOR YOU FOREVER.

● 貴方だけのブライダルリング
ブライダル・ギフト ●

WEDDING RING FORGING
いつも、そしていつまでも...



夢・そしてときめいて...
あづちや

かがやきそえて 一 宝石・時計・メガネ・記念品・修理 一
南砺市本町(井波) TEL (0763) 82-0366